



月2回のお米

コメ市場に関する情報がここに凝縮されています。
毎月第2・第4木曜日 夕方発行



新潟コシヒカリ

発行日 : 2021/2/19

新潟コシ [日足] 180215 - 210218



TOPICS 米農務省による需給報告2月号における世界の需給

19/20年度 旧穀

2019/20年度の世界のコメの生産量は3億5,044万トン、国内需要は3億5,056万トンで、輸出が4,031万トン、輸入が3,991万トンであった。前月から生産量が+80万トン上方修正され、国内需要も同じく+80万トン上方修正された。輸出が+20万トン、輸入が+30万トン増加。期末在庫は変わりなかった。

2019/20 Est.	2021年2月					
	期初在庫	生産	輸入	国内需要	輸出	期末在庫
世界	61.91	350.44	39.91	350.56	40.31	61.78
米国	1.42	5.88	1.19	4.59	2.99	0.91
米国以外	175.48	491.29	41.32	491.2	39.92	177.37
主要輸出国	36.84	183.08	0.66	152.82	30.34	37.41
ビルマ	1.07	12.7	0.01	10.35	2.2	1.23
インド	29.5	118.43	0	105.74	12.49	29.7
パキスタン	0.93	7.2	0	3.28	3.82	1.03
タイ	4.24	17.66	0.25	12.2	5.67	4.27
ベトナム	1.1	27.1	0.4	21.25	6.17	1.18
主要輸入国	128.19	239.81	14.48	250.58	2.97	128.94
中国	115	146.73	2.6	145.23	2.6	116.5
欧州	1.19	1.97	2.44	4.05	0.31	1.24
インドネシア	4.06	34.7	0.55	36	0	3.31
ナイジェリア	1.22	5.04	1.4	6.85	0	0.81
フィリピン	3.52	11.93	2.45	14.3	0	3.6
中近東	1.27	2.34	3.97	6.15	0	1.43
その他	0	0	0	0	0	0
ブラジル	0.25	7.6	0.95	7.3	1.21	0.29
中央アメリカカリブ海	0.58	1.63	1.85	3.39	0.04	0.64
エジプト	0.95	4.3	0.3	4.3	0.02	1.23
日本	2.05	7.61	0.71	8.35	0.07	1.94
メキシコ	0.14	0.18	0.8	0.94	0.01	0.16
韓国	1.09	3.74	0.45	4.1	0.06	1.14

19/20年度	生産 百万トン	シェア
中国	146.73	41.9%
インド	118.43	33.8%
インドネシア	34.7	9.9%
ベトナム	27.1	7.7%
タイ	17.66	5.0%
ビルマ	12.7	3.6%
フィリッピン	11.93	3.4%
日本	7.61	2.2%
ブラジル	7.6	2.2%
パキスタン	7.2	2.1%
米国	5.88	1.7%
ナイジェリア	5.04	1.4%
エジプト	4.3	1.2%
韓国	3.74	1.1%
中近東	2.34	0.7%
欧州	1.97	0.6%
中央アメリカカリブ海	1.63	0.5%
メキシコ	0.18	0.1%
世界	350.44	100.0%



2019/20年度の国別生産量は、中国が第一位で1億4,673万トン、世界の41.9%を占めた。次いでインドの1億1,843万トン、33.8%、両国で76%弱を占める。3位がインドネシア、以下ベトナム、タイ、ビルマ、フィリッピンと続き、日本は9位、2.2%を占める。

20/21年度 新穀

20/21年度の世界のコメの生産量は5億317万トン、国内需要は5億197万トンで、輸出が4,538万トン、輸入が4,297万トンであった。前月からの変化はなかった。

	2021年2月					
2020/21 Proj.	期初在庫	生産	輸入	国内需要	輸出	期末在庫
世界	178.31	503.17	42.97	501.97	45.38	179.5
中国を除く世界	61.81	354.87	40.77	354.47	42.88	62.5
米国	0.91	7.23	1.15	5.08	2.99	1.22
米国以外	177.4	495.94	41.82	496.89	42.39	178.28
主要輸出国	37.75	186.2	0.71	153.2	33.3	38.16
ビルマ	1.13	12.9	0.01	10.5	2.2	1.34
インド	29.7	120	0	106	13.8	29.9
パキスタン	1.03	7.6	0	3.4	4	1.23
タイ	4.64	18.6	0.2	12	7	4.44
ベトナム	1.25	27.1	0.5	21.3	6.3	1.25
主要輸入国	128.58	241.18	14.65	252.75	2.87	128.79
中国	116.5	148.3	2.2	147.5	2.5	117
欧州	1.25	1.98	2.4	4.15	0.32	1.16
インドネシア	3.11	34.9	0.5	35.4	0	3.11
ナイジェリア	0.71	5.04	1.5	6.7	0	0.55
フィリッピン	3.6	12	2.3	14.4	0	3.5
中近東	1.36	2.27	3.85	6.2	0	1.28
ブラジル	0.35	7.48	0.8	7.2	1	0.43
その他	1.43	2.27	3.7	6.2	0	1.19
中央アメリカカリブ	0.64	1.63	1.95	3.52	0.03	0.66
エジプト	1.23	4	0.25	4.3	0.02	1.16
日本	1.92	7.62	0.69	8.25	0.08	1.9
メキシコ	0.16	0.19	0.8	0.96	0.01	0.19
韓国	1.14	3.51	0.45	4	0.06	1.04

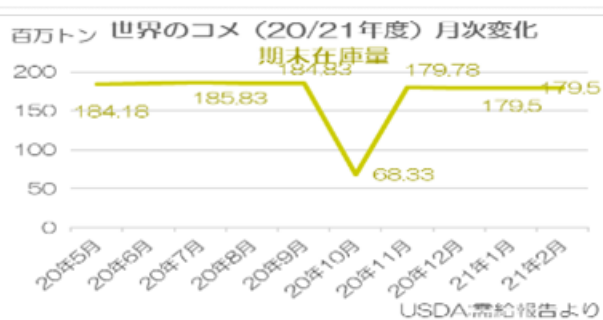
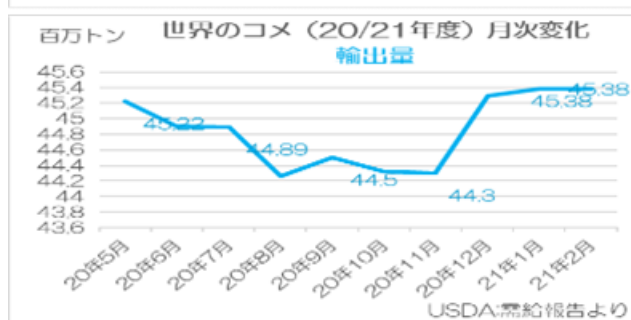
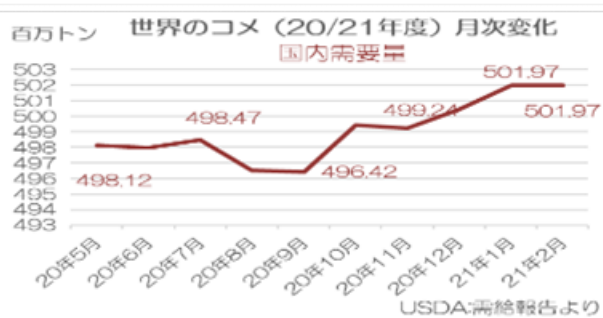
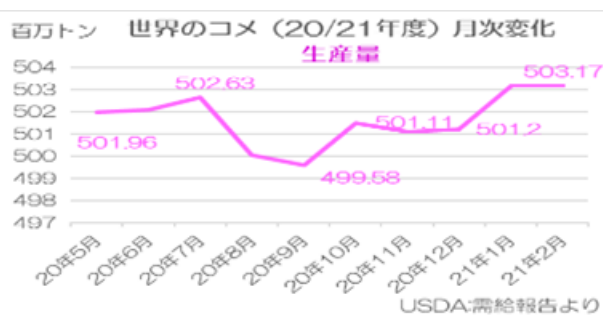
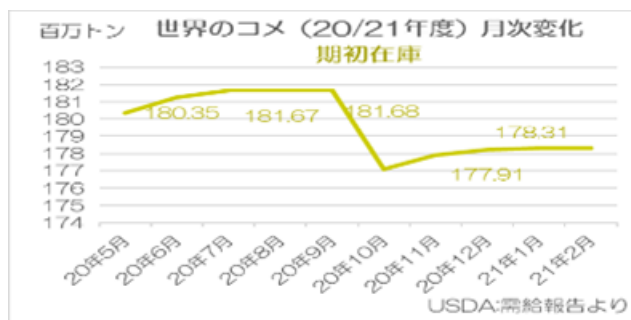
20/21年度	生産 百万トン	シェア
中国	148.3	29.5%
インド	120	23.8%
インドネシア	34.9	6.9%
ベトナム	27.1	5.4%
タイ	18.6	3.7%
ビルマ	12.9	2.6%
フィリッピン	12	2.4%
日本	7.62	1.5%
パキスタン	7.6	1.5%
ブラジル	7.48	1.5%
米国	7.23	1.4%
ナイジェリア	5.04	1.0%
エジプト	4	0.8%
韓国	3.51	0.7%
中近東	2.27	0.5%
欧州	1.98	0.4%
アメリカカリ	1.63	0.3%
メキシコ	0.19	0.0%
世界	503.17	100.0%

20/21年度のコメ生産国

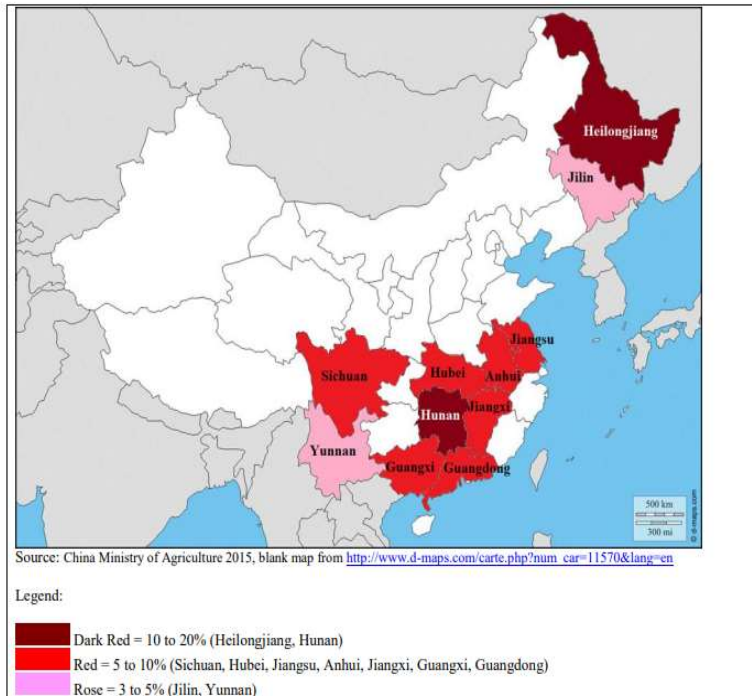


20/21年度 新穀に対する毎月の需給項目ごとのの変

20/21年度産の世界のコメの生産量は1月から上方修正された。需要も同様に上方修正され、輸入と輸出も上方修正されている。期末在庫はほぼ横ばい。



TOPICS 中国のコメ需給 by 1月21日付 USGAIN レポート



中国のコメ生産地

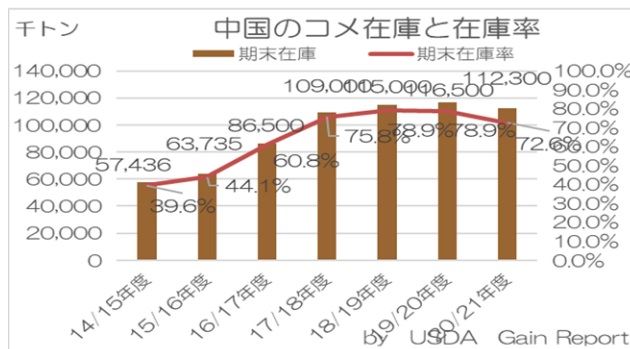
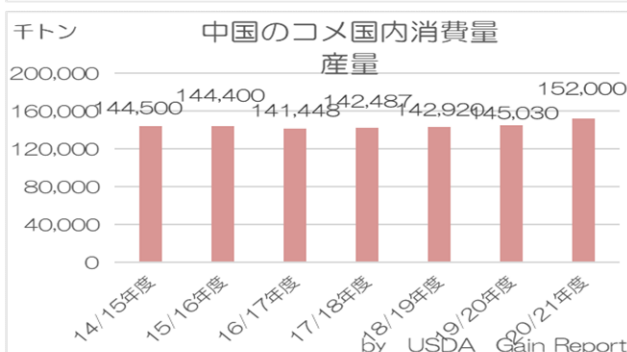
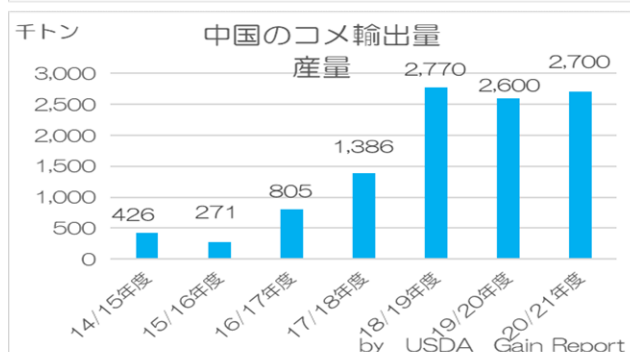
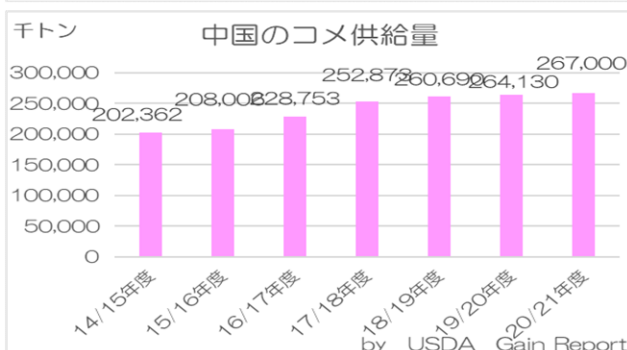
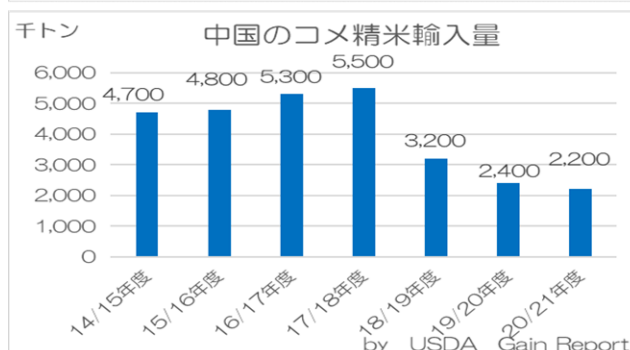
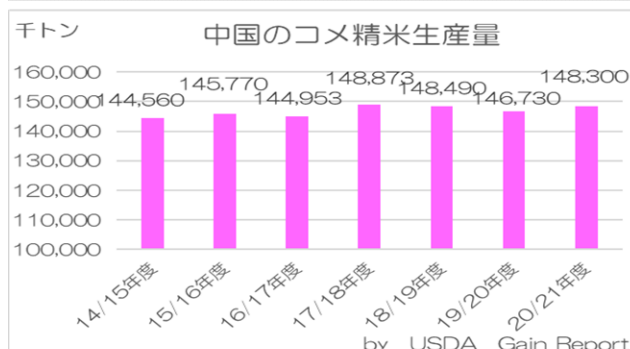
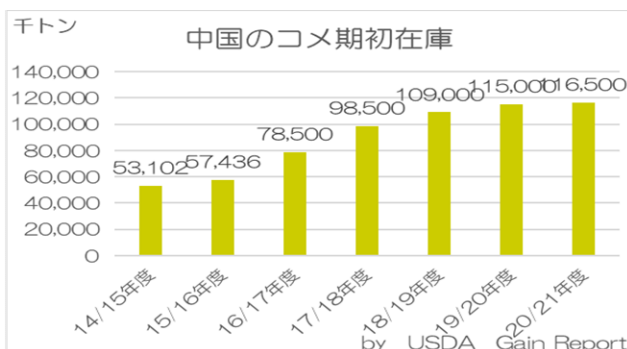
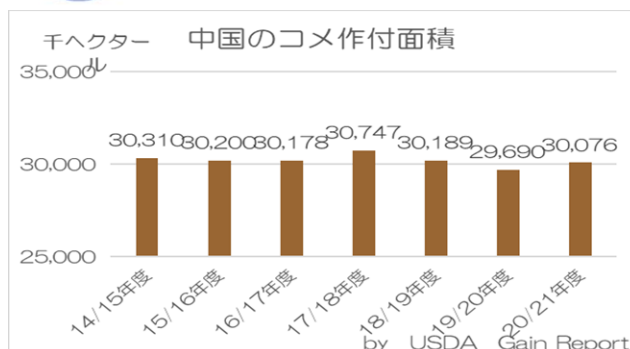
中国のコメの生産地域は東北部と、中南部に分かれている。

20/21年度の中国のコメ生産量

20/21年度（20年7月～21年6月）の中国の精米生産量は1億4830万トンと予想されている。農業政策により早場米の作付面積が増加したことによる。中国の二毛作の収穫は10月後半、一毛作は12月初めとなっている。中国国内コメ需要量は1億5,200万トンと、前回の予想よりも上方修正されているが、これはコメの飼料用需要が増加したためである。

業界筋によれば、飼料用のコメの民間入札が週当たり100万トンのペースで8月から行われている。飼料用は食料用と区別するためにコメ85%、小麦15%の割合で、小麦が混入される。飼料メーカーは貯蔵の懸念から、最初の数週間は購入に時間がかかったが、トウモロコシ価格の上昇に伴い、その後はコメの購入を検討するようになっている。

精米	2014/15年度	2015/16年度	2016/17年度	2017/18年度	2018/19年度	2019/20年度	2020/21年度	前年比
千トン・千ヘクタール	2014年5月～	2015年6月～	2016年7月～	2017年7月～	2018年7月～	2019年7月～	2020年7月～	
作付面積	30,310	30,200	30,178	30,747	30,189	29,690	30,076	+1.3%
期初在庫	53,102	57,436	78,500	98,500	109,000	115,000	116,500	+1.3%
精米生産量	144,560	145,770	144,953	148,873	148,490	146,730	148,300	+1.1%
モミ米生産量	206,514	208,243	207,076	212,676	212,129	209,614	211,857	+1.1%
精米レート（千トン）	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	+0.0%
輸入（穀物年度）	4,700	4,800	5,300	5,500	3,200	2,400	2,200	▲8.3%
輸入（暦年）	5,150	4,500	5,900	4,500	2,800	2,300	2,200	▲4.3%
米国からの輸入（暦年）	0	0	1	0	0	0	0	
供給合計	202,362	208,006	228,753	252,873	260,690	264,130	267,000	+1.1%
輸出（穀物年度）	426	271	805	1,386	2,770	2,600	2,700	+3.8%
輸出（暦年）	262	275	1,173	2,058	2,720	2,400	2,700	+12.5%
国内消費	144,500	144,400	141,448	142,487	142,920	145,030	152,000	+4.8%
期末在庫	57,436	63,735	86,500	109,000	115,000	116,500	112,300	▲3.6%
期末在庫率	39.6%	44.1%	60.8%	75.8%	78.9%	78.9%	72.6%	▲8.0%
生産＋輸入①	149,260	150,570	150,253	154,373	151,690	149,130	150,500	+0.9%
国内消費＋輸出②	144,926	144,671	142,253	143,873	145,690	147,630	154,700	+4.8%
需給バランス（①－②）	+4334.0	+5899.0	+8000.0	+10500.0	+6000.0	+1500.0	▲4,200.0	▲380.0%
単収（トン/ヘクタール）	6.7173	6.8134	6.8618	6.9170	7.0267	7.0601	7.0441	▲0.2%



中国のコメの作付け面積は19/20年度に少し減少したが、20/21年度はまた元の水準に戻っている。精米やモミ米（Rough Rice）の生産の傾向も同様である。中国の需要は右肩上がりであり、20/21年度は前年比+4.8%増であった。これまで需給はほぼ供給過剰であったが、20/21年度だけは▲420万トンの供給不足となっている。そのため、期末在庫は▲8.0%減少しているが、在庫率は72.6%あり十分備蓄されている。

今後の見通し

世界のコメの生産と需要が最も多いのは中国であり、在庫も十分持っている。近年コメを飼料用に使い始めているのは日本と同じである。特に中国の需給に変化はない。トウモロコシや大豆と違って、生産は安定しており、大きな変化はないものと思われる。

さて、新型コロナウィルスの感染が米国で減少しており、日本もワクチン効果が今後出てくるものと思われ、いよいよ新型コロナの影響は終わりを迎えようとしている。今後半年から1年かかるかもしれないが、確実に外食産業は復活するだろう。

谷深ければ山高しであり、徐々にあるかもしれないが、反動的な需要が出るのではなかろうか。日本のコメの需要が外食産業復活で多くなるかは約束できないが、少なくとも需要は少しは良くなるのではなかろうか。

掲載される情報は株式会社コモディティー インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：



株式会社コモディティー インテリジェンス
〒103-0014東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス：kondo@commi.cc